

# 安全衛生情報たかやま(H29.2月号)

労働災害による死傷者数 (H29.1月末現在)

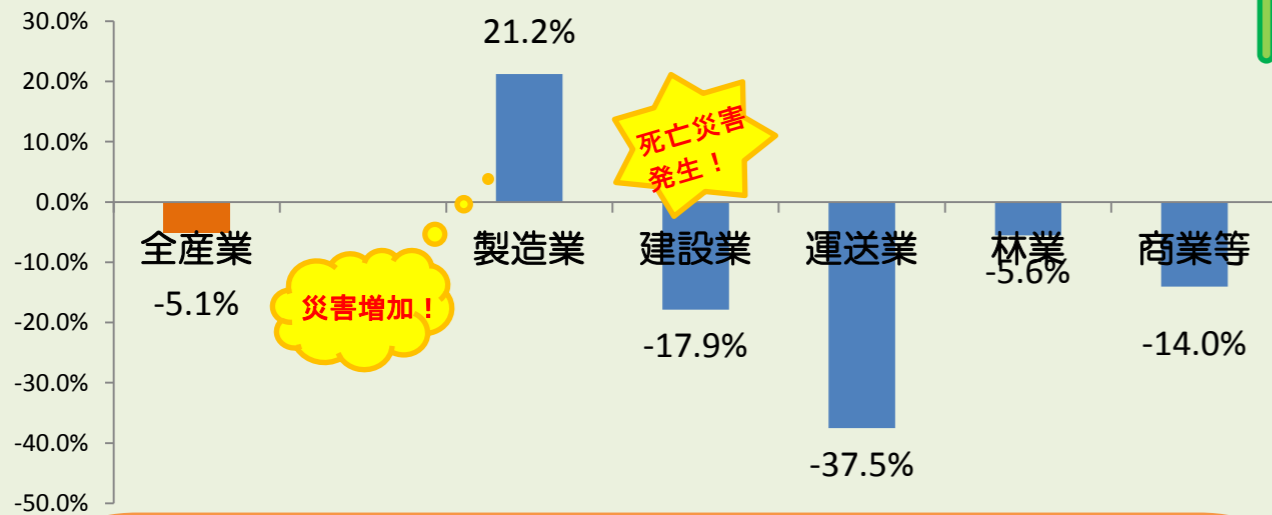
全産業

	平成28年	平成27年	対前年比 増減数	対前年比 増減率
死亡者数	2人	5人	-3人	-60.0%
死傷者数	148人	156人	-8人	-5.1%

主要業種の死傷者数 (詳細は、別途死傷災害発生状況をご覧ください)

	平成28年	平成27年	対前年比 増減数	対前年比 死傷者増減率
製造業	40	(1) 33	-(1) 7	21.2%
建設業	(2) 23	(2) 28	(0) -5	-17.9%
運送業	10	(1) 16	-(1) -6	-37.5%
林業	17	(1) 18	-(1) -1	-5.6%
商業等	49	57	-8	-14.0%

※労働者死傷病報告による休業4日以上死傷者数です。なお、( )は死亡者数で内数です。



〔最近の労働災害に関するコメント〕

全産業における労働災害は、前年同期に比べて8件(5.1%)減少しました。業種別に見ると、運送業が6件(37.5%)減、建設業は5件(17.9%)減、商業等は8件(14.0%)減と大幅に減少しています。しかしながら、製造業については7件(21.2%)増となっております。

災害事例

台車の運搬中に、手をはさまれる。

業種	食料品製造業	災害の程度	2か月
事故の型	はさまれ・巻き込まれ	起因物	人力運搬機
災害発生状況		災害発生原因	
荷を乗せた台車(かご台車)を運搬中、普段より作業が遅れており、急いで台車を移動させていた際に、台車の操作を誤り、台車と棚の間に手をはさまれた。		1 台車を移動させる際に、通常よりも急いでいたため、スピードを出したこと。 2 荷を乗せて重量が増えた台車を一人で操作したこと。	
概略図			
再発防止対策等			
1 台車の移動作業を行う際は、適正な速度で移動すること。 2 荷の重量に応じて、2人で作業を行うこと。 3 作業内容に応じてプロテクター等を使用すること。			
【コメント】 ロールボックスパレット(かご台車)による災害には、下敷き、転倒・転落、足をひかれる、指や手を挟む等の災害が多く発生しています。ルールを守り、安全に作業をしましょう。			

※災害発生状況は同種災害防止の見地から編集を加えており、原因・対策は代表的な事項を記載しています。

## お知らせ ロールボックスパレットの安全な作業方法 「ロールボックスパレットの8つのルール」

とても便利なロールボックスパレット(かご台車)ですが、下敷きや手足の負傷による労働災害が多発しています。

以下の8つのルールを守り、安全に作業をしましょう。

- ①段差、傾斜がある場所では、細心の注意を払って作業しましょう
- ②安全作業のためにも、きちんとした作業着を身につけましょう
- ③基本の動作を覚えて、事故を起こさないようにしましょう
- ④「押し」「引き」「よこ押し」のコツを覚えて、安全に作業しましょう
- ⑤複数人で取り扱う時は、声を掛け合い、慎重に作業しましょう
- ⑥基本的な荷の積み方をマスターし、荷崩れを防ぎましょう
- ⑦折りたたむと不安定になるので、転倒には注意しましょう
- ⑧テールゲートリフターの昇降時は特に危険なので、気をつけて作業しましょう

